

令和 7 年度キャリアレベル別研修実施要項（指導期保健師）

1. 開催目的：組織の人材育成方針を理解し、保健師の人材育成計画を作成及び実施評価できる人材を育成する。
2. 受講対象：秋田県内各保健所、市町村の保健師
キャリアレベル A-4 以上、B-1 以上または行政保健師としての経験年数概ね 16 年以上
3. 受講定員：10～12 名程度
※申込状況によっては受講者の調整を行い、全員が受講できない場合もあります
4. 育成後の到達目標
 - 1) 後輩保健師の指導を通して人材育成上の課題を明らかにし、所属部署に対応した人材育成計画（評価方法含め）案を示すことができる。
 - 2) 計画した人材育成計画案を組織内で検討し、その意見を反映させた人材育成計画が作成できる。

5. 開催期間：令和 7 年 11 月・令和 8 年 1 月（計 2 回）

回	年月日・場所	時間	内容
1	11 月 21 日 (金) 大学講義室	10:00 ～ 16:00	講義（2 時間） 1. 北海道における保健師現任教育の取り組み（案） 講師 北海道保健福祉部地域医療推進局医務薬務課 課長補佐（看護政策）/統括保健師 鹿野 令子 氏 2. 枝幸町における保健師のキャリア形成の支援（案） 講師 北海道枝幸町役場 保健福祉課参事・統括保健師 町民課こども家庭センター参事 植村 由佳 氏 演習（3 時間） 1. 所属自治体の人材育成の現状と課題について話し合う。 ・各グループの内容を発表し共有する ・講評 2. 所属自治体の人材育成の実行計画について検討する ・秋田県人材育成ガイドラインを基に各所属人材育成ガイドラインの確認をする。 次回までの課題 ・保健師が所属する部署内で人材育成を行う中で見えてきた課題解決に向けた人材育成計画を立案する。 ・作成した人材育成計画（案）について、保健師が所属する部署の関係者が集まり検討する。そのうえで最終案を作成する。

2	1月27日 (火) 大学講義室	10:00 ～ 16:00	演習 1. 作成した人材育成計画発表の準備（1 時間） ・パソコンに発表するパワーポイントのデータを入力する 2. 発表（一人 10 分程度）（2 時間） ・同規模自治体でグループを編成し、各自が作成した人材育成計画を発表する。 ・講評 3. 作成するうえで工夫したこと、困難だったこと等を話し合う。（2 時間） ・ワールドカフェ方式により意見を共有する。 4. まとめ
---	-----------------------	---------------------	--